

(様式5)

市民意見募集手続の結果について

1 計画等の案の名称 公立大学法人長野大学 第2期中期目標(案)

2 募集期間 令和4年9月16日(金曜日)から令和4年10月15日(土曜日)まで

3 実施結果

(1)件数 3件(1人)

(2)提出方法

持参	郵便	電子メール	ファクシミリ	計
0件(0人)	0件(0人)	3件(1人)	0件(0人)	3件(1人)

4 意見に対する市の考え方

No.	意見区分	意見の概要(要旨)	市の考え方
1	(ページ等) 第2 教育に関する目標 4 学生支援に関する目標 (2)就職・進学支援に関する目標	大学のHPで就職先企業は掲載されているが、上田市の税金が使われているため、数値として上田市、長野県への就職割合を示すべきではないかと思う。 また、その目標値も示すべきではないかと思う。地元へ貢献していることがPR出来るものとして欲しい。公務員への養成学校とならないようにして欲しい。	市内・県内への就職率については、第2期中期目標に基づき、長野大学が策定する第2期中期計画において、具体的な数値目標を設定するよう、検討してまいります。
2	第4 地域貢献及び国際化に関する目標 1 地域貢献に関する目標 2 地域で活躍する人材育成に関する目標	上田市は今年から奨学金返済についての助成をしているが、行政によっては地元企業への就職者には5年就労で返済免除のようなものもある。看護師の養成所では当たり前の制度である。 今後人口減少に転じていく中で、若者の人口維持・増加は行政成存続のカギとなるものである。縦割りの組織でなく横のつながりをもってこのような制度も積極的にPRし、「長野大学」の学生さんが上田市周辺で活躍する人数が増えればその存在活も高まるように思うため、こういった経費も上田市と相談して予算建てすべきではないかと思う。	御意見にもありますとおり、市内の中小企業等の人材確保、定着を目的とする「上田市学生等地域就職促進奨学金返還支援事業補助金」の制度が市にございます。 返済免除とはなりません。地域就労推進の一環として、まずは本制度の学生への周知に努めてまいります。
3	第4 地域貢献及び国際化に関する目標 1 地域貢献に関する目標 2 地域で活躍する人材育成に関する目標	ほかの大学はやっていないが、上田市の企業体験をカリキュラムとして講義の中に全学部位置付けるようなことも面白いと思う。 海野町でのまちかどキャンパスも、新学部創設もいいが、現状を活気づけるものではなく、将来への投資的な計画を盛り込んでほしいと思う。上田市の「公立」大学であれば当然のことではないかと思う。	長野大学において、インターンシップ制度を活用した講座は既ありますが、市内企業への体験できる機会を都度、設けられるよう、長野大学に伝え、研究してまいります。